

冬休み明け校長講話

みなさん、おはようございます。新しい年になって初めてのあいさつですから、「明けましておめでとう」と言いたいところですが、今日は言わずにお話を始めたいと思います。なぜなら今年のお正月に石川県や富山県と言った北陸地方でとても悲しい出来事が起きたからです。それは何かわかりますか。そうですね、それは能登半島地震です。那須塩原でも元日に震度4の地震が起きましたが、皆さんはそのとき何をしていましたか？校長先生は、家族と一緒にテレビを見ていたのですが、緊急地震速報がなったので慌ててNHKのニュースにチャンネルを変え、震度7の大きな地震が能登半島を襲ったことを知りました。これは大変なことになったと思いました。



特に、先月に篠根学園に来て皆さんの授業を見てくださったお友達の大学の先生が、地震が強かった金沢市に一人で暮らしているので、とても心配でたまりませんでした。そのため、次の日の夕方に北陸新幹線が全線開通したことを知り、その日のうちにリュックサックを背負って金沢に向かいました。幸いその先生とおうちは無事でしたが、大学の部屋の中は本棚が倒れたりガラスが割れたりしてめちゃくちゃになっていたので、二日間片付けを手伝いました。能登半島につながる道路は壊れているため一般の人は通ることができませんでした。

たくさんの町が地震や津波、火災によってたくさんの家や道路が破壊され、亡くなった人も200人近くいて、今なお見つかっていない人も何百人といまます。中には家族10人全員を亡くして、ひとり生き残ったお父さんもいます。今日も住む家をなくした何万人という人たちが、水も、食べ物も、暖房もない避難所で助けが来るのを待っています。その人たちのために何もできずにいる自分が残念でなりませんが、校長先生にも小学生や中学生の皆さんにもできることがきっと何かあるはずです。辛い目に遭っている人や困っている人の心の痛みを想像して、手を差し伸べることが出来る人が一番人間として立派だと思います。皆さんにも自分には何ができるかを一緒に考えてほしいと思います。答えが見つかったら、校長先生にぜひ教えてください。

話は変わりますが、冬休みは楽しく過ごせましたか。こうして皆さんと新しい年を迎えることができてうれしいです。新年の目標を立てた人も多いと思います。まだ目標を立てていない人はこれから考えてみてください。校長先生の目標は、箠根学園をよい学校にするために全力で頑張ることです。今年度の残りはあと2ヶ月くらいしかありませんが、残された時間は1年間の勉強のまとめをするのと同時に、来年度の準備をする大切な時期でもあります。1年生は4月に新しい1年生を迎えます。新しい1年生のお兄さん、お姉さんとしてお手本になれるように3学期の生活をがんばっていきましょう。また、5年生は6年生になり、前期課程の最高学年としての責任がうまれます。6年生は後期課程、つまり中学生としての生活が始まります。8年生は箠根学園最高学年となり、箠根学園のリーダーとして学校全体をまとめて行かねばなりません。9年生の皆さんには、高校入試に向けて最後の一瞬まで諦めずに努力を続けてください。苦しい道のりですが、自分の夢を叶えるためですから頑張れるはずです。

もしかしたら冬休みの間に辛いことがあったり、普段の生活の中でうまくいかないことがあって悩んだりしている人もいるかも知れませんが、大切なことはそれに負けずに前を向いて一生懸命生きることです。家族全員を地震で亡くしたお父さんの悲しみを思えば、こんなことに負けてはいられないと思えるはずです。

4月にはそれぞれの学年がひとつ進級します。胸を張って4月を迎えるようみんなでがんばっていきましょう。そのためにも「負けるな 嘘をつくな 弱い者をいじめるな」という箠根っこの約束を大切にしてほしいと思います。先生方も全力で皆さんを応援することを約束します。

以上で、お話を終わります。ありがとうございました。

